

特産品シールで白浜をアピール

白浜特産品協同組合
西牟婁郡白浜町 理事長：野村 慎

和歌山県を代表する観光地白浜には、多くの土産品があります。

しかし最近では、土産品の売れない時代といわれ独自性のある地元商品、限定商品、他所にはない珍しい土産品というように一種の特化戦略が求められている時代でもあります。

こういった時代のニーズに対応するために観光土産



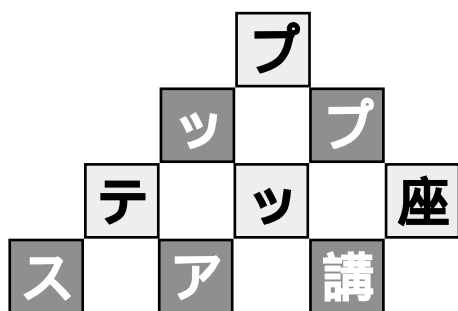
品を製造する方たちが協同組合を組織し、より集客力の強い地元観光産品を共同販売しようと結集したのが白浜特産品協同組合の目的です。

和歌山県の特産品には、県物産推薦シールを貼付したものがあり、アイテム数も沢山あります。

しかし国内有数の観光地白浜の地元業者が、更に特化した白浜土産をアピールするために、組合で特産品シールを作成しました。(左記図)

組合員4名で足固めをした上で、今後も観光土産品の情報発信基地として、積極的にPRを行なっていきたいという意気込みが力強く伝わってきました。





失敗しない パソコン購入術

パソコン買って何するの？

私たちは日頃たくさんの種類の機器に囲まれて生活しています。テレビ、冷蔵庫、掃除機、洗濯機、ビデオデッキ、携帯電話・・・。

では、ビデオデッキって何のためにあるのでしょうか。当然だけど、ビデオテープを見るためです。時代と共に便利な機能はいろいろ追加されてきていますが、基本はテレビ番組を録画したければ、録画ボタンを押す。ビデオテープ内の映像を見なければ、再生ボタンを押す。非常にシンプルではっきりしています。他の機器にしても、いろいろ複雑な機能はあっても基本的には同様に用途は明確です。

じゃあパソコンはどうでしょう。インターネット閲覧、電子メール、表計算、文書作成、音楽再生、画像編集、年賀状の作成、・・・と実にいろんなことができます。ただ、この「何でも出来る」というパソコンの特性が、同時に欠点でもあるのかもしれない。

これから初めてパソコンを購入しようという人は殆どの場合、パソコンで何が出来るのか、また出来るにしてもその作業がどれくらいの習熟が必要なのかも解っていません。また、みんなが出来ていても自分には出来ないんじゃないかと不安を抱えている場合が大半です。このような人に「購入目的を明確

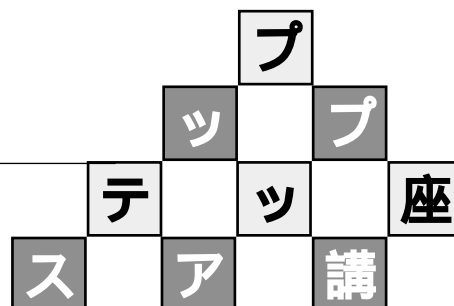
にしる」といっても酷なことだとも云えます。

以前なら、今すぐ何かをしたいという目的がはっきりしていない場合は、とりあえず拡張性の高い（将来の機能追加、拡張に柔軟に対応できる）マシンを購入しておき、目的が定まってから、必要なメモリーやディスクの増設、ソフトや周辺機器の追加をするのが常道だったのですが、昨今のように技術の進歩が著しい上、以前の機器やソフトとの互換性が重視されない状況では、早いうちに目的をはっきりしない限り、この方法も結果的に無駄な投資をしてしまう可能性が高くなってしまい、最善の策とは云えなくなってしまいました。購入してから3年経てば陳腐化してしまうのが現状ですから、とりあえずインターネット閲覧や電子メールが出来ればいいと考えている人は、あまり拡張性を考慮せず必要最低限の機能を持った低価格のマシンを購入するのがいいのかもしれない。そして、もし何か目的が見つかり、それに対して自分のマシンが役不足なら新たに買い換えればいいというくらいの気持ちで機種選択をした方がいいでしょう。

PART



中小企業診断士 福本恒夫



ソフト満載パソコンはお得？

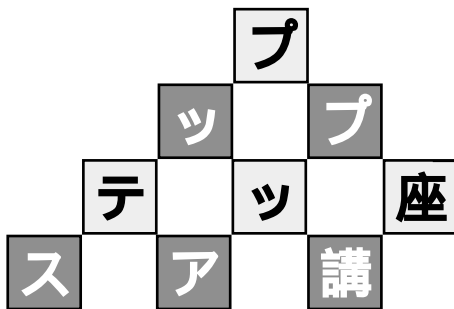
一般にコンピュータを購入する際、同じ値段なら最初からたくさんソフトが入っているほうが得だと考えがちですが、これは大きな誤りです。ソフトがたくさんインストールされていると、ディスクの容量を圧迫するのは当然のことながら、コンピュータの動作が遅くなる上、不安定になります。また相性の悪いソフトが同居している場合、トラブルが多発し、コンピュータがハングアップ（暴走）したり、ひどいときには二度と起動しなくなってしまったりと、かんじんの業務に支障をきたす原因になるからです。

実際、私の友人が購入した国内有数の超有名メーカー製のパソコンでも購入したばかりの初期状態で、まともに起動しないソフトがいくつも見つかったこともあります。メーカーがソフトを積みこむだけ積みこんで、出荷前にまともに最終動作チェックさえ行っていないとしか考えられません。

このような話をすると、「それなら使わないソフトは消してしまえばいいじゃないか」という人がよくいますが、残念ながらWindowsではほとんどの場合、インストールされたソフトを跡形もなく消し去ることは出来ません。それどころか、ソフトをアンインストール（消し去る）することにより、さらに不安定になったり、他のソフトが動かなくなったり、最

悪の場合Windows自体が壊れる場合もあります。ですから、パソコンを軽快に安定した状態で作動させるには、出来るだけソフトの入っていないパソコンを買ってきて、必要なソフトだけをインストールして使用するのが一番なのです。特にお買い得感を強調するために、バンドルソフト数を増やすためだけにインストールされた正規の商品でない体験版ソフトやデモソフトは百害あって一利なしといっても過言ではありません。もちろんメーカーも消費者が望むから仕方なくやっているのだとは思いますが、このようなソフトが多数インストールされたマシンは避けたほうがよいでしょう。





日本橋で買った方が安い？

時々、「パソコン買うなら大阪の日本橋の方が安いから日本橋で買った方がいいかな」という質問を受けます。私の答えは「ノー」です。パソコンが他の家電製品のように殆どトラブルや故障がないのなら良いのですが、残念ながらかなりの確率で発生します。特にパソコンの場合、本体の故障なのか、ソフトの不具合なのか、あるいは周辺機器や接続ケーブル

ルの不良なのか、なかなか見極めることの難しい状況がよく起こります。このような場合、購入した販売店が遠いと何かと厄介です。

購入にあたってはトラブルや修理は必ず起こるものと考えて、出来るだけ近くできちんとサポートしてくれるお店を探しましょう。購入時の僅かな価格差に惑わされるのは後悔の元です。

中古パソコンはお得？

「自分が使いこなせるかどうか判らないし、最初から大きな投資はしたくないので中古のパソコンを買った方がいいかな」という人がよくいます。答えは「ノー」です。昨今のようにパソコンを取り巻く技術進歩が激しいと少し前の機種でも現行製品に比べ、処理速度、記憶容量、コネクタ形式等、あら

ゆる面で見劣りが目立ちます。また、トラブルや故障の際の処置なども円滑に行なえないことも多く、特に初めてパソコンを買おうという人にはお勧め出来ません。中古パソコンの購入はパソコンに精通した人以外は避けた方が無難です。

必要なものは最初にまとめて買った方がいい？

すぐには使わないものでも将来必要なものは最初にまとめて買っておきたいものです。ただ周辺装置やソフトもパソコン本体同様、進歩や値下がり著しいので、今すぐ必要でないならあわてて購入しない方が得策です。時期にもよりますが、数ヶ月経てばメモリーでも半額近くに値下がりしたり、ハ

ードディスクなら同じ値段で記憶容量が倍増したりすることもよくあります。また、ソフトでも新しいバージョンがすぐに出て、一回も使っていないのにいざ使おうとすると早速バージョンアップにお金がかかったりします。今すぐに使わないものは、必要になってから買いましょう。



2001年版中小企業白書のポイント

2001年版中小企業白書の特徴

1. 現下における典型的な中小企業の悩みを分析。悩みの解決という観点から構造面での変化を見るとともに、具体的解決事例を提示。
2. 事例はわかりやすく、かつ深掘りした分析を実施。
3. さらに、中小企業の経営課題という観点から、

IT導入

高齢者生活支援や環境など新分野への挑戦

大学における技術シーズの活用

最近充実をみている支援体制

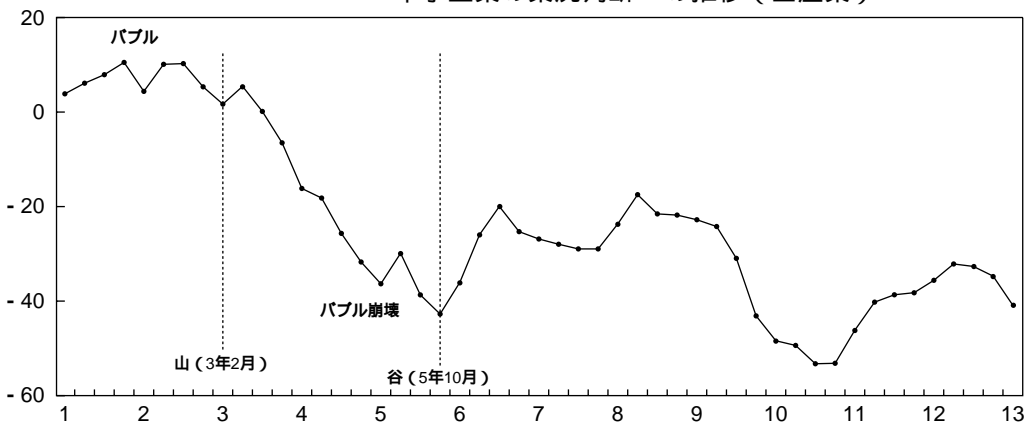
について分析。

特に、ITについては導入のステージごとに対応方法を分析するとともに、失敗事例についても記述。

< 中小企業の動向 > (第1部)

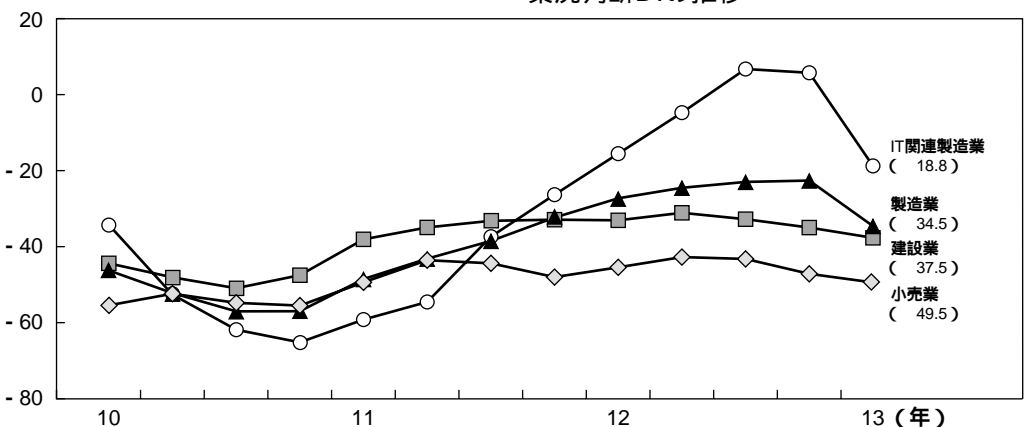
- ・ 中小企業の景況は弱含んでいる。
- ・ 今回の景気回復の特徴は、ITを中心とした製造業が回復してきたものの、その他の業種の回復が弱かったことである。

中小企業の業況判断DIの推移 (全産業)



資料：中小企業庁・中小企業総合事業団「中小企業景況調査」
 (注) 業況判断DIは、前年同期と比べた「好転」-「悪化」

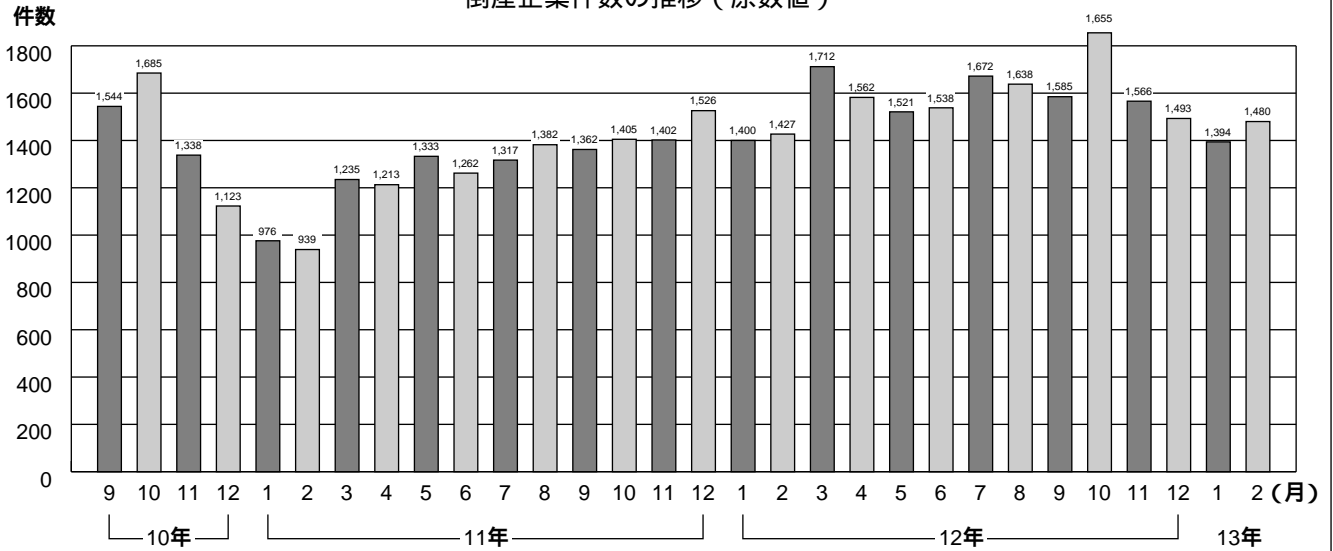
業況判断DIの推移



資料：中小企業庁・中小企業総合事業団「中小企業景況調査」
 注：1. 業況判断DIは、前年同期と比べた「好転」-「悪化」
 2. 「IT関連製造業」とはITに関連が深いと考えられる一般機械、電気機械、精密機械のDIを合成したものの。

- ・平成12年の中小企業（資本金1億円未満）の倒産件数は約18,500件と、前年比で約22%増加した。
- ・業種別に見ると、建設業が倒産件数全体の約1/3を占めている。

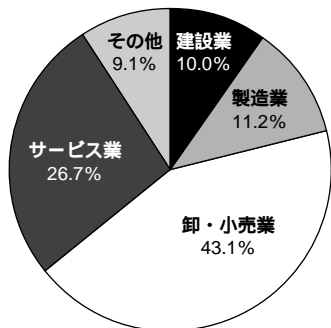
倒産企業件数の推移（原数値）



資料：東京商工リサーチ「倒産月報」

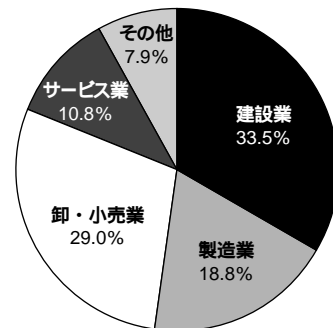
< 中小事業所数と中小企業の倒産件数における業種別構成比 >

中小事業所における構成比



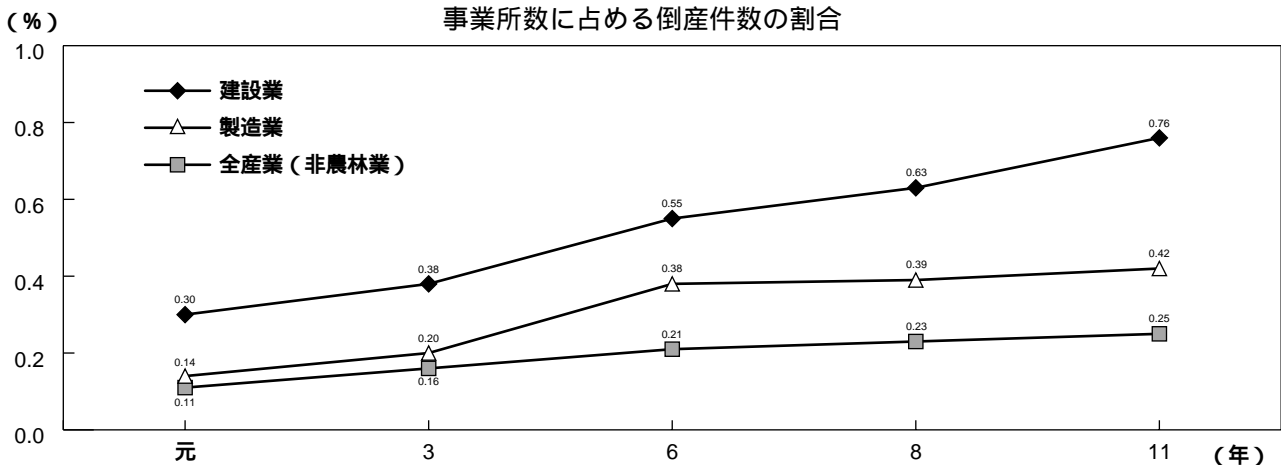
資料：総務省統計局「事業所・企業統計調査（平成11年）」

中小企業の倒産件数における構成比



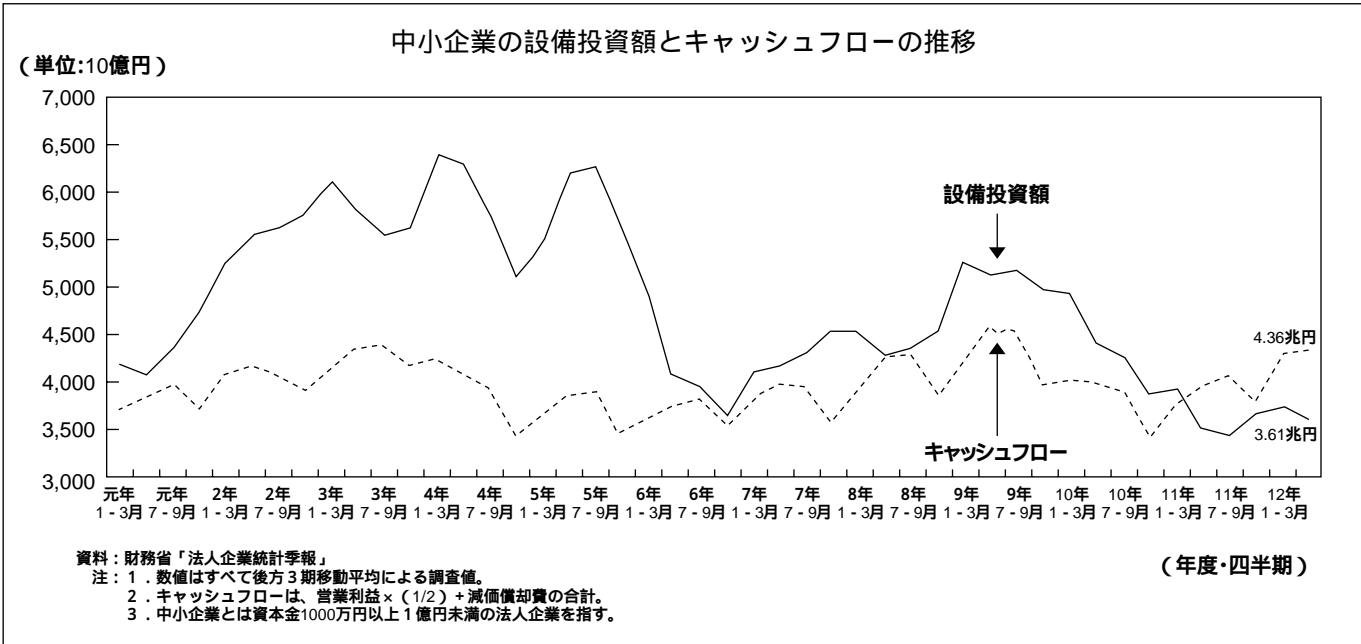
資料：東京商工リサーチ「倒産月報（平成12年1月～12月）」
 （注）中小企業とは資本金1億円未満の法人及び個人企業を指す。

事業所数に占める倒産件数の割合

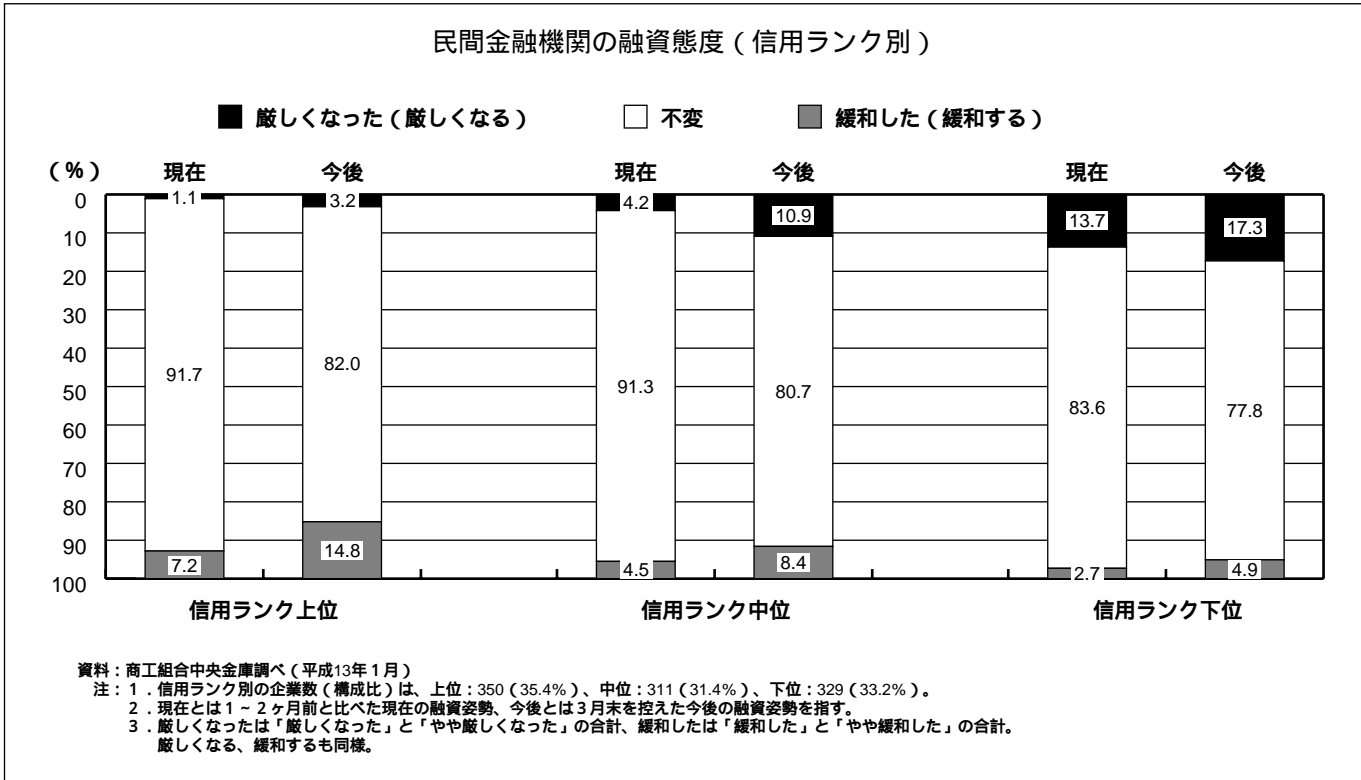


資料：総務省統計局「事業所・企業統計調査」、東京商工リサーチ「倒産月報」
 （注）倒産件数は各時点における暦年の数値を用いた。

・中小企業の設備投資額はキャッシュフローを下回っており、慎重な姿勢がうかがえる。



・金融機関の中小企業向け貸出については、融資先に対する選別が進んでいることがうかがえる。



< 円滑な経済構造変化に不可欠な中小企業の挑戦 > (第2部)

1. 中小企業が抱える経営課題とその対応

- ・短期的、長期的に見て「需要の停滞」が最大の経営課題。
- ・長期的には、「人材の確保・育成」、「資金調達難」も深刻な経営課題。

中小企業の経営上の問題点

(短期的課題)

(単位:%)

	今期(平成13年1~3月期)直面している経営上の問題点		
	1位	2位	3位
製造業	需要の停滞 38.3	製品(加工)単価の低下・上昇難 22.4	製品ニーズの変化への対応 9.6
卸売業	需要の停滞 50.7	販売単価の低下・上昇難 14.7	大企業の進出による競争の激化 9.1
小売業	大・中型店の進出による競争の激化 27.9	需要の停滞 24.0	購買力の他地域への流出 15.9
サービス業	需要の停滞 33.5	利用者ニーズの変化への対応 20.3	新規参入業者の増加 10.9
建設業	官公需要の停滞 26.2	請負単価の低下・上昇難 23.6	民間需要の停滞 22.6

資料：中小企業庁・中小企業総合事業団「中小企業景況調査」
注：1. 数字は当該項目を最も重要な問題点(1項目選択)としてあげた企業の割合。
2. 四半期調査のため短期的な景況に関する選択肢が中心。

(長期的課題)

(単位:%)

	企業経営上の課題				
	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	受注量確保 72.2	人材の確保・育成 38.8	低価格競争 32.2	後継者不在 30.4	資金調達・債務保証 26.1
卸売業	受注量確保 47.8	人材の確保・育成 45.2	低価格競争 41.9	資金調達・債務保証 32.9	後継者不在 23.7
小売業	低価格競争 40.8	大型店との競合 35.3	後継者不在 33.7	人材の確保・育成 25.2	資金調達・債務保証 20.2

資料：経済産業省「商工業実態基本調査」(平成10年6月調査)
注：1. 数字は各業種において課題があると回答した企業における割合。
2. 複数回答を認めているため合計は100%を超える。

ある中小企業の悩み~0社(印刷業、従業員11人)

需要の停滞

不況が長期化する中で、90年代以降の業界全体のデジタル化に乗り遅れた同社の業績は改善しない。

過剰な有利子負債

デジタル化に対応しない形での90年代前半の積極的な設備投資は、結局借金の山を残すだけになってしまった。

人材不足・後継者難

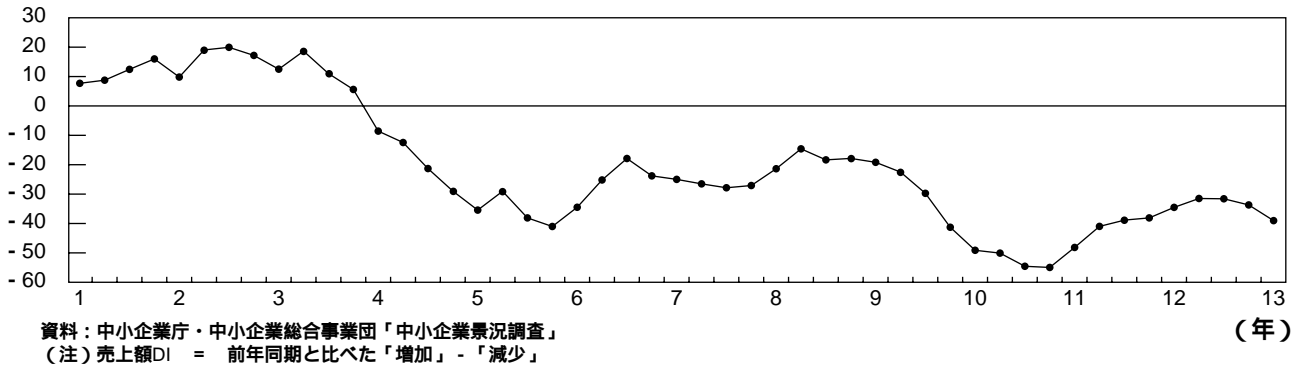
デジタル化に対応しようとしても、社内にIT専門家がない。

経営者も高齢になっており、現在コンピュータ会社に勤務する息子は自身のキャリアを活かした新規事業の立ち上げを条件に事業承継を検討中。

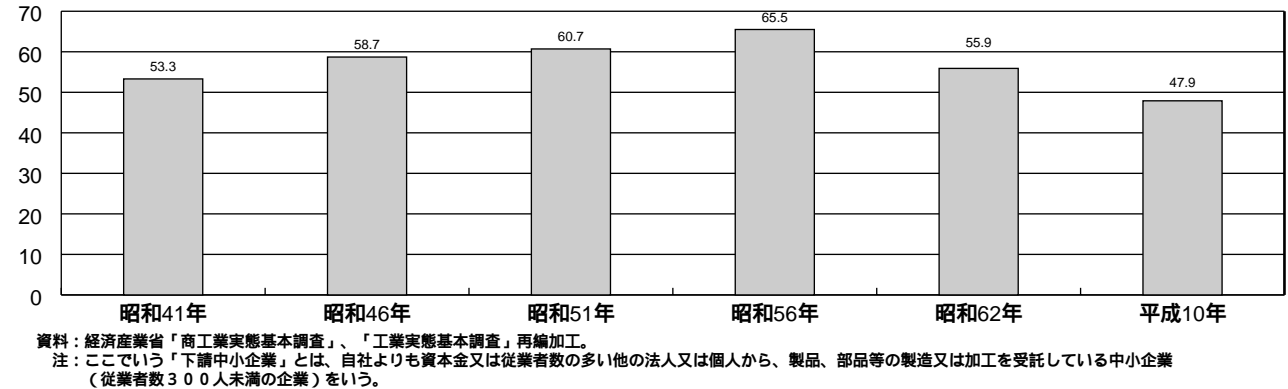
需要の停滞

- ・中小企業の売上DIは水面下で推移。
- ・親企業による下請企業の選別、消費構造の変化など、中小企業は顧客との関係において構造的変化に直面している。

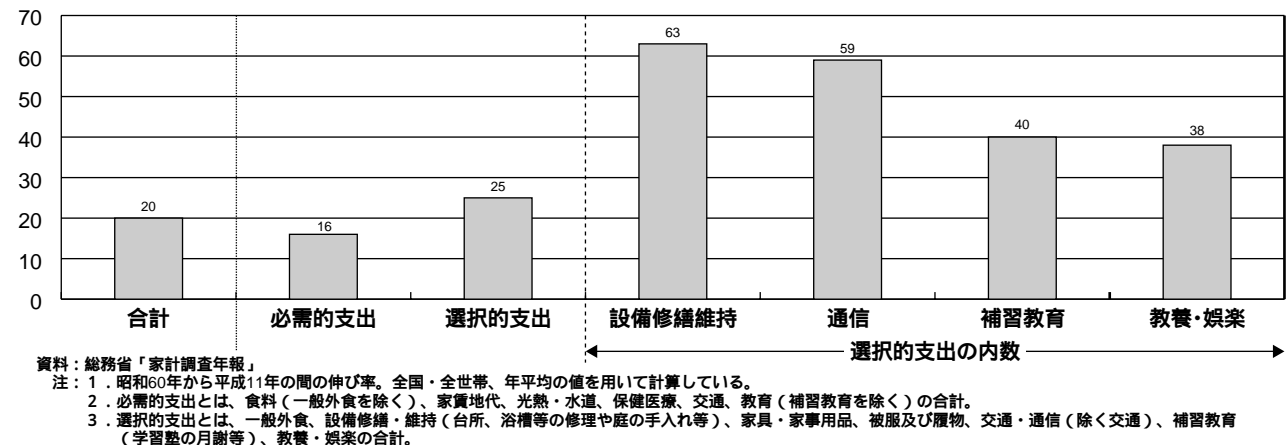
売上額DI



(%) 下請中小企業比率の推移



(%) 消費構造の変化 - 選択的消費支出が消費全体を上回り増加



取組事例

< 商品化の前に顧客ニーズを把握 >

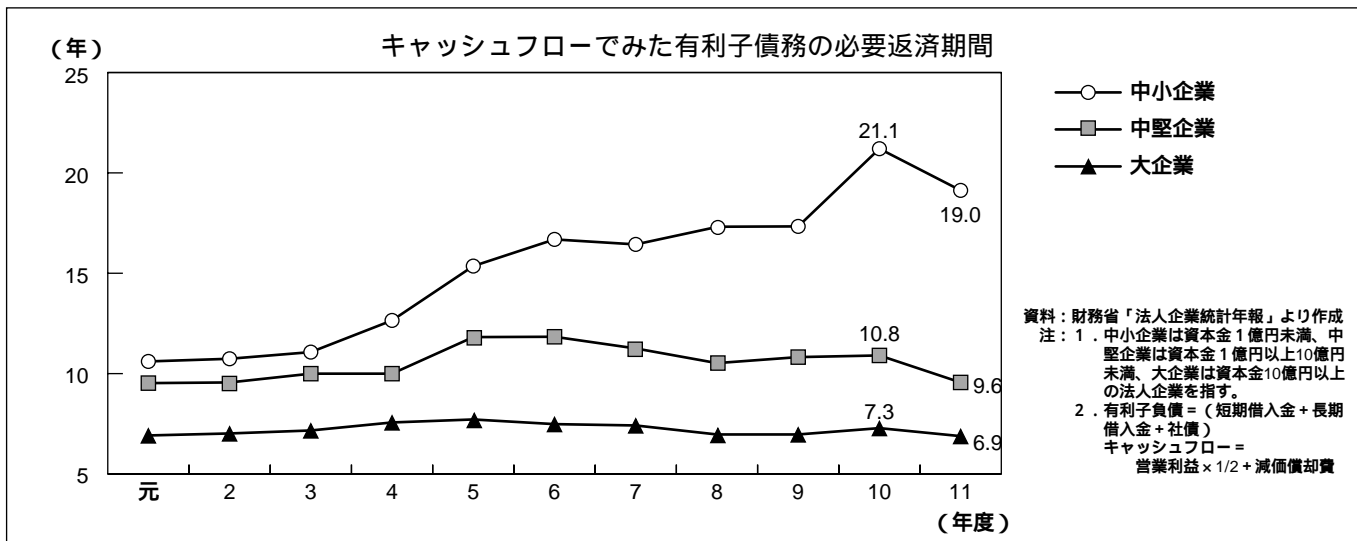
業務用焼物器メーカーA社は、大手居酒屋チェーンで設計段階から使用してもらい、1年かけて新商品を開発。

< 顧客の生の声を聞いて用途拡大 >

災害対策用品メーカーB社は、防災訓練等に参加して顧客の生の声を吸い上げ、商品の用途を拡大。

資金調達

- ・中小企業の多くは、有利子負債の必要返済期間が長期化（約20年、この10年で2倍）。



（取組事例）

<キャッシュフロー計算書による無担保借入>

- ・飲食店C社は、キャッシュフロー計算書を金融機関に提出し、資金返済能力が十分あることを示して無担保で増店用資金を調達。
- ・食肉プラント製造業者D社は、事業に関連する損害賠償訴訟中に資金繰りが苦しくなったが、財務関連資料で黒字経営を証明できたため、つなぎ融資確保に成功。

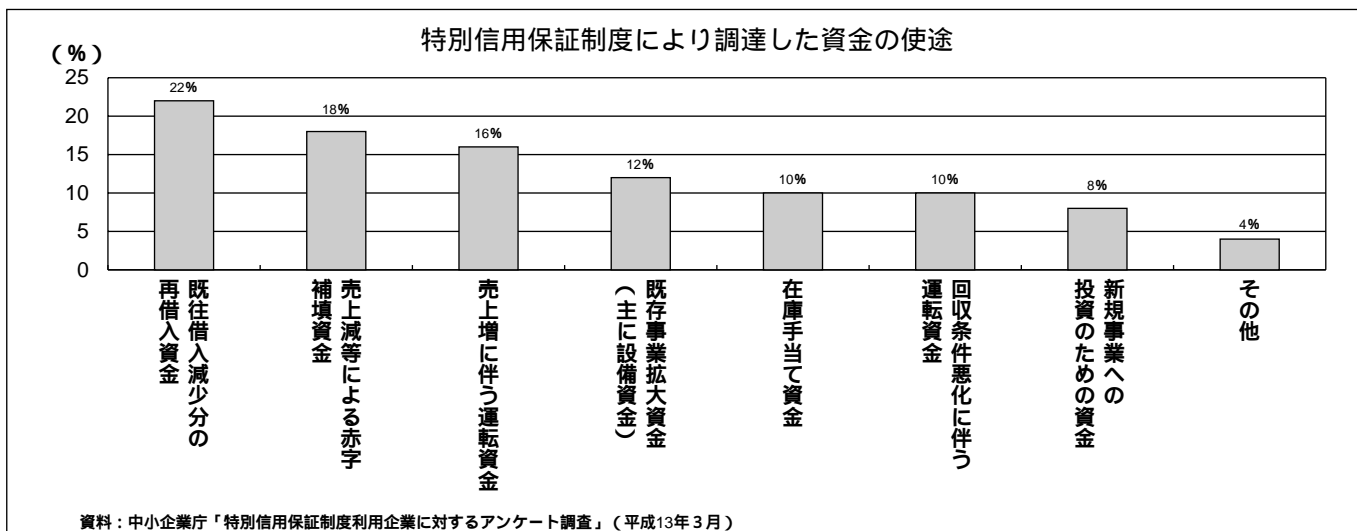
<地道なデータ分析で仕入れ・在庫にかかる負担を削減>

中華料理店E社は、個別データから自社の原価構造を把握した上でメニューを見直し、無駄な仕入れの圧縮に成功。

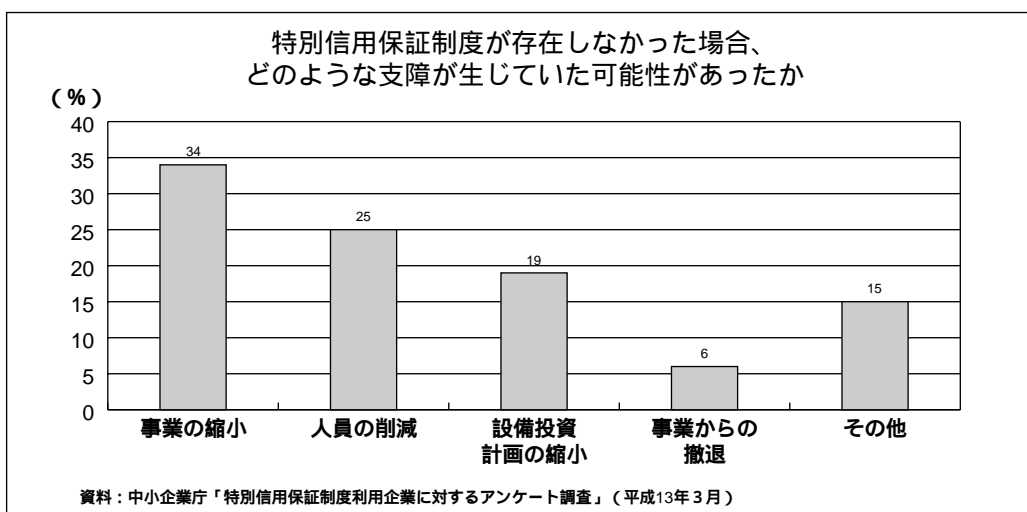
特別信用保証制度の効果

平成10年10月に制度創設。平成13年3月23日までに、のべ約166万件、約28兆円が利用されている。（本制度は3月末の期限到来をもって終了）

- ・多くの企業が「資金繰り改善」等に利用したが約2割の企業は「既存事業拡大投資」「新規事業投資」に活用。



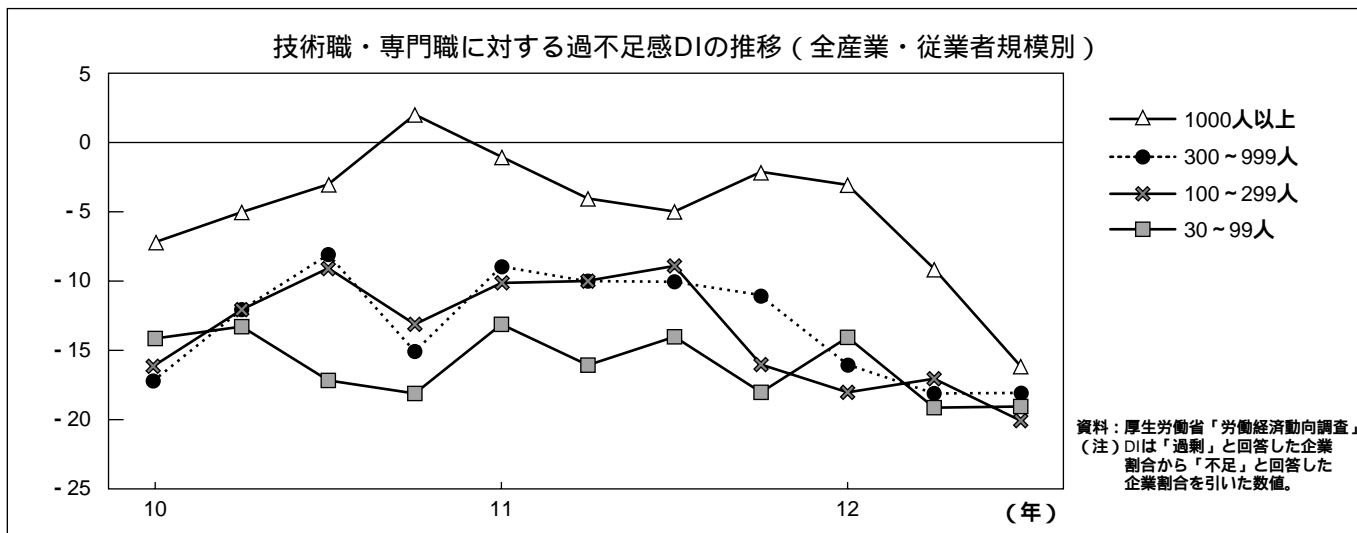
・制度が存在しなかった場合、約85%の企業が「事業の縮小」「人員の削減」など経営上の支障を生じていたと回答。



資金調達の円滑化に向けて

一般保証における無担保保証の限度額の引き上げ（5,000万円 8,000万円）や、大型店の撤退・災害等のためのセーフティネットに係る対策の充実
 中小企業の信用リスクに関する定量的評価を行うための「中小企業信用リスク情報データベース（CRD）」の構築（13年4月から試行的運用実施）
 売掛債権の流動化による資金調達の円滑化

人材の確保



（取組事例）

＜若手社員を期間限定取締役に抜擢＞

浄水場向けの過砂メーカーF社は、「改善プラン」が採用された若手を期間限定取締役に就任させ、業務改革を推進。

＜独自の技能士資格制度を創設＞

電子部品関連メーカーG社は、独自の技能士資格制度を創設し、古参から若手への技能伝承を円滑化。

中小企業庁のホームページ <http://www.meti.go.jp/report/whitepaper> より13年度版中小企業白書のポイントを次号にわたって掲載いたします。

平成14年度

助成事業名	助成事業の概要		助成金額
<p>組合等中小企業連携組織調査開発等支援事業</p> <p>中小企業者が、経営上の重要度の高い問題について、その解決を図るための取り組みを共同で行うことを支援します。</p>	<p>活性化枠 リフレッシュ枠 マーケティング強化対策</p>	<p>新製品（既存製品の改良を含む）・新技術（既存技術の改良を含む）・新事業分野への進出等に関する研究開発、その成果の利用及びそのために必要な需要の開拓 情報化の促進 品質管理・マーケティング・エネルギー環境対策・労働力確保等、経営上の重要な問題の解決 設備・事業内容の高度化 その他重要と認められる事項</p> <p>助成対象：組合等</p>	<p>800,000円 (自己負担額) 400,000円</p>
	<p>多角的連携組織開発支援</p>	<p>中小企業が個々に有する経営資源を結集し、任意グループ等の形で行う研究開発等に対し助成を行う。</p> <p>助成対象：任意グループ</p>	<p>800,000円 (自己負担額) 400,000円</p>
	<p>組合自主研修</p>	<p>組合員等の資質の向上を図るとともに、組合等の活力と創意工夫を引き出すためにする研修 経営・販売・経理・財務労務・組織運営等に関する研修 新製品開発・新技術導入・新分野進出その他組合等が直面している問題に関する研修 中小企業及び組合の今後のあり方に関する研修</p> <p>助成対象：組合等</p>	<p>140,000円 (自己負担額) 70,000円</p>
<p>中小企業情報創造発信強化支援事業</p>	<p>組合等のホームページ作成またはホームページの全面的な更新に関する事業</p>		<p>200,000円 (自己負担額) 100,000円</p>

中央会助成事業

助成事業名	助成事業の概要	助成金額
<p>中小企業活路開拓調査・実現化事業</p> <p>中小企業者が単独では解決の困難な問題について、業種別・地域別事業者団体たる性格を有する組合等がこれを改善するための取り組みを行う事を支援します。</p>	<p>調査事業</p> <p>技術・技能の継承や後継者の育成 規制緩和等による経営環境の変化への対処 エネルギー環境問題への対処 労働問題への対処 取引慣行の是正 事業の構造改善及び新たな事業分野への進出 創業者支援 企業データベースの作成・広報等 情報化の促進 地域の中心市街地の活性化 その他重要と認められる事項</p> <p>助成対象：組合等の内、次のいずれかとするもの 地域に重要な関わりを有する業界を代表していると認められる業種別事業者団体であって10人以上の構成員を有しているもの 地域において指導的な役割を果たしている事業者団体であって10人以上の構成員を有しているもの その他、地域または業界内で主導的な役割を果たしている組合等であって当事業を実施する主体として適当と認められるもの</p> <p>実現化事業</p> <p>組合等が作成した活路開拓のためのビジョンの実現化を図るために必要な事業で次に該当するもの 試作・改造事業 実験・実用化試験事業 試供・求評事業 導入・改善指導事業</p> <p>助成対象：組合等の内、次のいずれかとするもの 地域に重要な関わりを有する業界を代表していると認められる業種別事業者団体であって10人以上の構成員を有しているもの 地域において指導的な役割を果たしている事業者団体であって10人以上の構成員を有しているもの その他、地域または業界内で主導的な役割を果たしている組合等であって当事業を実施する主体として適当と認められるもの</p>	<p>2,000,000円～</p> <p>(自己負担額総事業費の1/3)</p>

組合等とは、中小企業関係組合の他社団法人等の公益法人や共同出資会社・任意グループなどの中小企業庁長官が定める団体

助成事業の申込みは平成13年9月10日迄

平成14年度事業につきましては、事業費・助成額・自己負担額等変更となる場合があります。申込み組合等が多い場合は事業計画等検討の上選定いたします。詳細は当中央会支援一課、支援二課、情報調査課までお問い合わせ下さい。

組合講習会・研究集会



助成組合募集

平成13年度組合講習会・ 研究集会に対する助成組合の募集

中央会では、平成13年度特定指導事業の一環として小企業者組合が、組合の組織強化、運営の向上、事業の発展向上等及び組合員の近代化等を目的として組合の講習会・研究集会を開催する場合、その経費の一部を助成いたします。

助成を希望される小企業者組合は、8月25日までに本会宛申込書及び実施計画書にてお申し込みください。

- ・対象組合 ……組合員の3/4以上が小企業者（商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については、常時使用する従業員の数が2人以下、その他の事業者については、5人以下）である事業協同組合等
- ・助成組合数 ……7組合 1組合70,000円（事業及び助成金額に要する経費が105,000円の場合、105,000円未満の場合は実際に要した額の2/3）
- ・助成対象経費 ……講師謝金、講師旅費、会場借料、資料費（研究集会のテキスト等の印刷費を含む。）通信運搬費、消耗品費

【詳しい問い合わせは 総務課まで】

廃棄物実態調査アンケート にご協力ください

この度、県では、廃棄物の発生を少なくし、各種のリサイクルを進めながら適正処分が行われることを目指して、新たな「廃棄物処理計画」を策定することとなりました。

つきましては、県内の廃棄物の実態を把握するため、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

調査の概要

- 1 調査方法：郵送によるアンケート方式
(県から直接郵送します。)
- 2 調査対象：全業種（農業を除く）から抽出した県内4,500事業者
- 3 調査項目：廃棄物の発生・処理・処分の実態
- 4 調査時期：発送日時 平成13年7月25日
回答期限 平成13年8月24日
- 5 実施機関：（財）日本環境衛生センター
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町11-15
TEL 044-287-3280

問い合わせ先

和歌山県地域環境課計画推進班 幸前・石井
和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL 073-441-2675 FAX 073-441-2685

「家庭にやさしい企業」表彰実施要領

1. 趣 旨

少子化・高齢化、核家族化が進む中で、育児や家族の介護の問題は勤労者が仕事を続けていくうえで深刻な問題になっており、安心して子育てや家族の介護が出来る職場づくりが求められています。

このため、仕事と家庭の両立支援のために様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を勤労者が選択できるような取組を行う中小企業に対し知事賞として「家庭にやさしい企業賞」を贈呈し、その努力と功績をたたえるとともに、これを広く県民に周知し、勤労者がいきいきと働ける社会づくりの推進に資するものとする。

2. 表彰基準

(対象) 県内に事業所を有する中小企業であり、以下の要件のいずれかを満たし、かつ他の模範となる優良な企業。

(要件) 法を上回る基準の育児・介護休業制度を導入していること。

- ・1年を超える育児休業制度

・分割取得できる介護休業制度 等
仕事と家庭のバランスに配慮した柔軟な働き方ができる制度を導入していること。

・フレックスタイム制

・育児や介護を行う期間のみの短時間勤務制度

・育児や介護を行う期間のみの始業・終業時刻の繰上・繰下制度 等

仕事と家庭の両立を可能にするその他制度を導入していること。

・事業所内託児施設

・育児・介護サービス利用料の援助措置 等

仕事と家庭との両立がしやすい企業文化をもっていること。

・職場が育児・介護休業制度等を利用しやすい雰囲気を有している。

3. 締 切 平成13年8月31日(金)迄

お問い合わせは

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

和歌山県商工労働部労政能力開発課
調査指導班 担当 関本

TEL 073-441-2793 FAX 073-422-5002

講習会のご案内

(財)和歌山県中小企業振興公社では、中小企業総合事業団と共催で下記講習会を開催します。参加ご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

1 講習会名 環境管理・監査制度対応講習会

日時 平成13年9月13日(木)

午後2時から5時55分まで

場所 ロイヤルパインズホテル2階

わかうらの間(和歌山マリーナシティ内)

内容 環境マネジメントシステム

(ISO14001)の解説

2 講習会名 食品リサイクル法・

容器包装リサイクル法対応講習会

日時 平成13年9月20日(木)

午後1時から4時50分まで

場所 ロイヤルパインズホテル2階

わかうらの間(和歌山マリーナシティ内)

内容 食品リサイクル法・

容器包装リサイクル法の解説

3 講習会名 廃棄物処理法対応・資源有効利用

促進法対応・建設リサイクル法対応講習会

日時 平成13年9月27日(木)

午後1時から4時30分まで

場所 ロイヤルパインズホテル2階

わかうらの間(和歌山マリーナシティ内)

内容 廃棄物処理法・資源有効利用

促進法・建設リサイクル法の解説

いずれも無料で、定員50名になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ先・申込先

(財)和歌山県中小企業振興公社

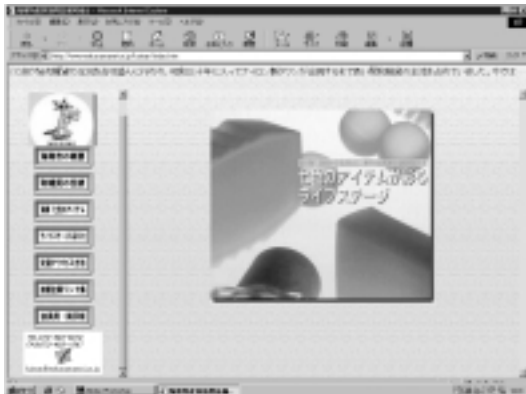
産業振興課 担当 西、西前

TEL 073-432-3412 FAX 073-432-7299

会員HP紹介

海南特産家庭用品協同組合

〒642-0002 和歌山県海南市日方1268 TEL073-483-6070
 URL <http://www.wakayamanet.or.jp/kainan/index.htm>



海南市の概要をはじめ、和雑貨の伝統を詳しく紹介しています。
 また組合員企業の紹介を製造する製品別に区分けし、閲覧を容易に出来るよう工夫されています。

和歌山県飲食業生活衛生同業組合

TEL073-423-2132
 URL <http://www.chuokai-wakayama.or.jp/insyoku/>



組合の沿革を始め、2400名余りの組合員名簿を掲載しています。
 また和歌山グルメナビと題して、食事・スナック等形態別に組合員を紹介しています。

平成12年度の中央会事業により16の会員組合がホームページを開設しました。
このページでは毎月4組合ずつホームページアドレスとトップページの紹介をして
いきます。

協同組合無双

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田87-13 TEL073-475-3227

URL <http://www.chuokai-wakayama.or.jp/muso/>



建築積算の専門家で構成された組合です。
建築コストの透明性・客観性・妥当性を確保推進するために重要な役割として、建築積算の必要性を説明するホームページです。

協同組合中紀環境科学

〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅1745-2 TEL0737-63-4543

URL <http://www.chuokai-wakayama.or.jp/chuuki/>



共同受注事業を中心とする組合のホームページらしく、事業実績・工事实績等組合の受注実績を掲載しています。

情報連絡員調査

6月分

DI (ディフュージョンインデックス) 値

DI 値は景気が上向きか下向きかを表す数値です。

DI 値 = 増加(好転)割合 - 減少(悪化)割合

DI 値 > 0 ... 景気上向き

DI 値 = 0 ... 景気横ばい

DI 値 < 0 ... 景気下向き

業界景況2.5ポイント悪化

前年同月比の景気動向

増加・好転↗ 不変→ 減少・悪化↓

業種		項目	売上高	収益状況	資金繰り	業界景況
製造業	食料品		↓	↓	↓	↓
	繊維同製品		↓	↓	↓	↓
	木材木製品		↓	↓	↓	↓
	出版印刷		↓	↓	↓	↓
	化学ゴム		↓	→	→	→
	窯業土石製品		↓	↓	↓	→
	鉄鋼金属		→	→	→	↓
	その他		↓	↓	↓	↓
非製造業	卸売業		→	↓	↓	↓
	小売業		↓	↓	↓	↓
	商店街		↓	↓	↓	↓
	サービス業		↓	↓	↓	↓
	建設業		↓	↓	↓	↓
	運輸業		↓	↓	↓	↓
DI 値			- 62.5	- 65.0	- 55.0	- 72.5

(情報連絡員40名のうち回答数40名 回答率100%)

総評

前年同月比における「業界景況」判断指数(DI値:景気動向指数)は、マイナス72.5ポイントであり、同5月調査と比べて2.5ポイント悪化した。

同5月調査と比べ、「売上高」は2.5ポイント改善、「収益状況」は2.5ポイント悪化、「資金繰り」は7.5ポイント悪化した。

6月の調査では業界景況に関して、情報連絡員40名のうち、「不変」との回答は11名、「悪化」との回答は29名で、「好転」との回答はなかった。

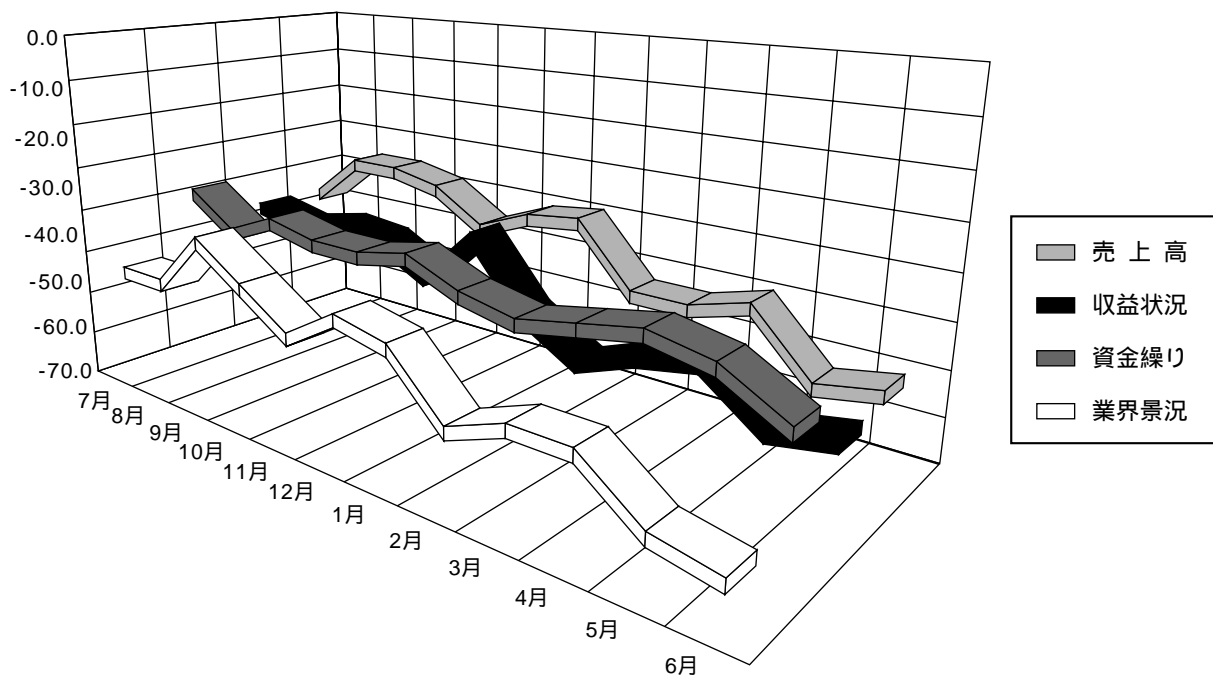
● 製造業 ●

繊維・同製品	景況の悪化の理由は、輸入品との競合もありますが、今月は特に需要の悪化の為、景況は一段と悪い。(手袋)
	夏物は盛り上がり欠けたまま終息。5月後半からやや稼働が上向いているものの、引きつけ発注型が多く先行きが見えない。糸の販売数量は、昨年7月に1万梱を割りこんだまま回復していない。ユニクロからの大型発注で3~4社はフル操業。(ニット)
木材・木製品	建具製造業者の大半は受注が減少し、減産体制を採っている。また、住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)により品質向上が要請され、コスト面の削減も困難である。(建具)
	近畿地域の家具卸業者の相次ぐ倒産(3件)で、当業界は厳しい状況です。(家具)

● 非製造業 ●

小売業	景況は低迷のまま変化がない。6月は閑散期である。(和歌山市)
商店街	丸正の倒産とビブレの撤退による街の状況の悪化は、次第に深刻になってきている。(和歌山市)
サービス業	夏の顧客に期待する業界ですが、宿泊料金の安値志向に歯止めがかからない。(旅館)
	対前年比で、宿泊人員97.4%、1人あたり宿泊単価98.7%、宿泊人員は1~6月で、101%となっている。(白浜旅館)
運輸業	輸送数量が減少してきている。業界全体として大変厳しい経営環境である。(和歌山市)

年間DI値(前年同月比)の推移



会員だより

IT講習会開催

～那智勝浦シ - ル協同組合～

7月11日、那智勝浦シ - ル協同組合では、パソコン研修会を開催しました。

シ - ル会館会議室において午後7時からという時間帯にもかかわらず15名が出席され、パソコンを前に各人が熱心に聴講実習されました。

経営革新を目指す多くの中小企業にとって今やパソコン習得は必須手段の一つ。講師の(株)G Iソフト代表取締役・郷間博敏氏の説明によるパソコン操作の基礎、インタ - ネット概要、ホームページ検索、電子メ - ルの送受信などを一人一人が操作し、あっという間に

2時間余りの講習時間が経過しました。

この講習会を通じてIT時代に順応する基礎知識・基本的技能の習得が可能となり、今後の日常“eビジネス”に十分役立つものと思われま



組織化集中指導事業実施

～田辺運輸団地協同組合～

中小企業診断士・税理士の水城 実先生を迎え組合運営基盤強化策等、具体的に検討。

異業種グループによる小型風力発電機開発 のための調査事業スタート

(風力発電研究会：メンバ - 13名)

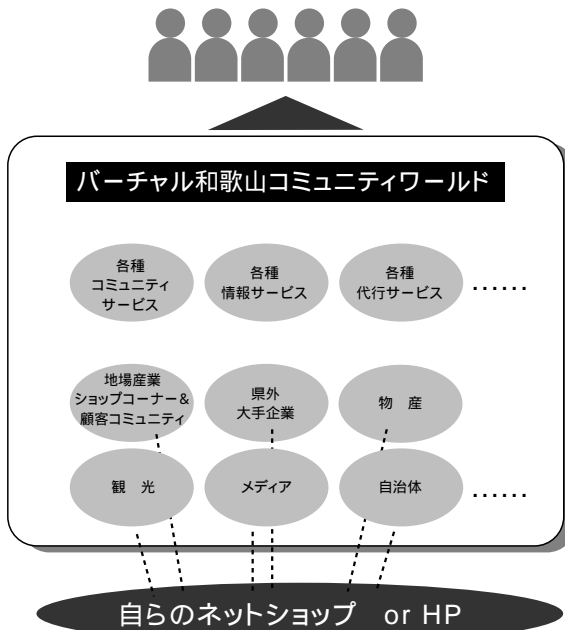


株式会社バーチャル和歌山設立!

「バーチャル和歌山」は、バーチャル和歌山県民が“豊富でお得な情報入手”と“ネット上の意見交換”ができるにぎわい広場を持ったコミュニティワールドです。

バーチャル和歌山50万人都市構想(バーチャル和歌山コミュニティワールド)

- バーチャル和歌山県民のメリット
- 住民へサービス性向上
故郷とのつながり・交流
- 企業の役割
- 1) eコマース
 - 2) 企業情報発信から、自らの顧客コミュニティ創出へ (CRM)
- (株)バーチャル和歌山の役割
- 1) 場の運営
 - 2) マーケットプレース事業
 - 3) MP事業
マーケティング、広告、企業協賛
 - 4) 企業の顧客コミュニティ受託事業
コンサル、システム構築
運営代行



(株)バーチャル和歌山は、和歌山県と民間団体37社の共同出資によって、設立した会社です。(株)バーチャル和歌山は、県民と企業が一体となり、インターネット・コミュニティ・ビジネスを企画・制作・運営し、「地域産業の活性化」「郷土意識の昂揚」「新たなふるさとづくり」に寄与し、豊かな社会の実現に貢献します。

設立：2001年7月10日

資本金：3億4100万円

〒642-0017

和歌山県海南市南赤坂11番

地和歌山リサーチラボ2F

Tel：073-483-0018

Fax：073-483-6475

お問い合わせは / E-mail : info@wecom.jp



ビジネス ズームアップ

毎日放送 MBS 土曜の朝6:45~7:00

8/11

【企業レポート】

こだわりハムをネットで販売! 売上急増中

【ワンポイント情報】

基盤整備事業について

8/25

【企業レポート】

紙素材で重量物を包装! ファブレス企業のエコ構想

【ワンポイント情報】

中小企業テクノフェアについて

8/18

放送局特別番組のためお休みします。

9/1

【企業レポート】

活性化商店街! 中核施設と若手経営者のアイデア作戦

【ワンポイント情報】

アドバイザー派遣制度について

全国大会開催のご案内

第53回中小企業団体全国大会が長野市で開催されます。

日時 平成13年10月25日(木)
10:15~13:00

場所 長野市スポ・ツアリ・ナ
ビッグハット

大会テーマ 「連携・創造・挑戦 新世紀に翔
け中小企業」

大会参加を兼ねた独自の旅程を企画致しました。ぜひご参加下さい。

10月23日(火) 金沢市加賀友禅視察
10月24日(水) 美女平・黒部湖(黒部ダム)
10月25日(木) 全国大会に参加
(全国大会参加料6,000円は中央会で負担)

参加料金 73,000円(1名)

お申し込み及び詳細は中央会総務課迄
TEL 073-431-0852
FAX 073-431-4108

—— 火災共済 ——

より安い掛け金!
より早い支払い!
より簡単な手続き!

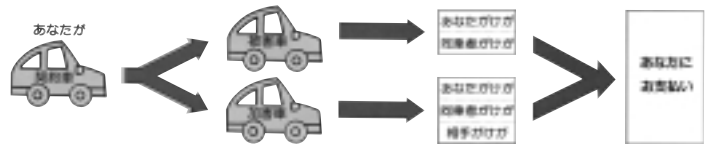


和歌山県火災共済協同組合

—— 自動車事故見舞金共済 ——

契約者を救う他に類のない共済制度です。

強制保険 } とは全く関係なく全て契約者(加
任意保険 } 害者・被害者)に支払われます。



和歌山県中小企業共済協同組合

問合先 和歌山市西汀丁26番地
TEL (073) 431-3288(代)

中 央 会 共 済 制 度

マキシムR (逡増定期保険)

損金で落としながら有退時の役員退職金の準備が出来ます

総合保障プラン

集団割引なのでどこよりも安い掛け金で、高額保障・高額医療保障

年金共済 (拠出型企業年金保険)

高齢化社会に備え、老後生活資金が準備できます(個人年金保険料控除適用可)

特定退職金共済制度

大企業なみの退職金制度の確立で、優秀な人材の確保を

共済受託会社

三井生命保険相互会社

和歌山支社 和歌山市北汀丁7番地

TEL 073-431-5231
FAX 073-423-7017